

中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <https://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL : 048-873-0216 FAX : 048-810-1120

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな児童の育成

「富士は日本一の山」

校長 小長谷 雅彦

私は、ほぼ毎日同じ場所で朝の旗振りに立っています。一日一日の変化を感じるのは少しずつですが、同じ場所にいるので、長いスパンで考えると季節の移り変わりを肌で感じます。春から夏にかけては太陽高度が高く直射日光が暑く感じるので、建物のできる日陰を探しますが、秋から冬に向けてだんだんと太陽高度が下がり、暖かさを求めて晴れた日は日なたを探します。同じ時間でも日の当たる場所が刻々と変わることによって一年や季節を実感します。昔の人が太陽のことをお日様やお天道様など「様」を付けるくらい有難く思っていたことが分かるような寒さが身に染みる季節になりました。

さて、11月25日に6年生の社会科見学の引率で東京に出かけました。さすがの6年生。落ち着いた態度で見学し、時間を守って行動していました。横断歩道のあるところでは、みんなが手を挙げて渡っている姿も見られました。国会議事堂から駐車場への移動では、他校の児童もつられて手を挙げていました。



また、東京に向かうバスの車窓から富士山がきれいに見えました。「富士山が見えるよ。」とつい言葉にしてしまうぐらい、今頃の姿が富士山の一番有名な姿で、白と水色のコントラストが何ともいえません。バスの着座位置が高いおかげで東京でも富士山がこんなにきれに見える場所があることに驚きました。バスガイドさんが今年の富士山の初冠雪は11月7日だったと言っていたので、そんなに遅かったのいつの間にこんなに雪が積もったのかと思い、調べてみました。

標高3776mの富士山頂は7月、8月でも最低気温が氷点下になることもあり、いつでも雪が降る環境で、雪がちらつくことはあるのですが、初冠雪は初雪とは違い、山頂からおよそ40Km離れた甲府市の甲府地方気象台から職員が目視で積雪の状況を確認し、発表しているのだそうです。今年は11月7日、富士山の初冠雪とされました。甲府地方気象台の観測で、平年(10月2日)より36日遅く、昨年(10月5日)より33日遅い初冠雪です。昨シーズンまでに最も遅い初冠雪は1955年と2016年10月26日でしたが、それを更新し、1894年の統計開始以来、最も遅い初冠雪となったのだそうです。ちなみに、これまでの最も早い記録は、2008年の8月9日でした。気象台は、今年は9月の気温が高い日が続いたことが要因だと分析していて、10月の富士山の山頂付近の平均気温も平年に比べて3度ほど高く、1.6度だったということです。全国の10月の平均気温は平年の10月の平均気温と比べて2.21度高くなり、気象庁が1898年に統計を取り始めてから最も気温が高い10月となったことはニュースでも取り上げられていました。高さだけでなく美しさも日本一と称される山「富士山」。この姿をできるだけ長い間見守っていききたいものです。

先日のふれあいフェスティバルではPTA役員の方々・地域の有志の方々には大変お世話になりありがとうございました。強い風の中で運営に苦勞されていましたが、児童を含む多くの人々で賑わい児童の満足した顔がたくさん見られました。

